

令和7年度 後期学校評価保護者アンケート 結果報告

副校長 末次 哲侍

学校評価に御協力いただきありがとうございました。

御多用の中、令和7年度後期学校評価に御協力いただきありがとうございました。延べ117名の方に御提出いただき、回収率が約54%となりました。結果は以下の表のとおりです。学校や教職員への励ましの言葉や要望等多数お寄せくださいました。皆様からいただいた御意見を受け止め、教育活動の改善に努めてまいります。引き続き本校の教育活動への御理解・御協力をお願い申し上げます。

令和7年度 12月 学校評価アンケート結果【保護者用】〔回収率：54.1%〕								
1-あてはまる 2-ややあてはまる 3-ややあてはまらない 4-あてはまらない 5-わからない(判断できない)								
		1	2	3	4	5	1+2	前回との比較
1	鏈水中学校グループ（由木西小・鏈水小・鏈水中）育てたい児童生徒像「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」を知っている。	45.3%	35.0%	7.7%	12.0%	0.0%	80.3%	6.2%
2	学校は、特色ある取組(授業のユニバーサルデザイン化、生徒会を中心とした校則改訂の検討、学運協と協働した落ち葉掃き、郷土〔鏈水〕学習、定期考査前後の補習、評価評定の質問教室等)を行っている。	59.8%	29.9%	5.1%	5.1%	0.0%	89.7%	-2.7%
3	本校が、鏈水小学校・由木西小学校と合同で行う取組(「ブレ中学生プロジェクト〔6年生による中学校1日体験〕」、生徒会による小学校訪問等)を知っている。	75.2%	16.2%	4.3%	4.3%	0.0%	91.5%	-4.1%
4	学校は、子どもたちが安心・安全に過ごせるように、避難訓練等の安全管理に取り組んでいる。	64.1%	23.9%	2.6%	1.7%	7.7%	88.0%	-0.5%
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分の大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。	44.4%	35.9%	7.7%	3.4%	8.5%	80.3%	-1.0%
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。	39.3%	41.0%	2.6%	5.1%	12.0%	80.3%	2.6%
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	39.7%	33.6%	6.0%	4.3%	16.4%	73.3%	-0.8%
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(1人1台の学習用端末を含む)の活用等の工夫に取り組んでいる。	47.0%	30.8%	4.3%	0.9%	17.1%	77.8%	2.7%
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	29.9%	38.5%	5.1%	5.1%	21.4%	68.4%	11.5%
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	43.6%	36.8%	2.6%	3.4%	13.7%	80.3%	-2.4%
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてキャリア教育を行っていることを知っている。	67.5%	25.6%	1.7%	2.6%	2.6%	93.2%	2.5%
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	41.9%	35.9%	1.7%	3.4%	17.1%	77.8%	0.1%
13	学校は、保護者に対して、学校だよりやホームページ等で適切に情報を提供している。	58.1%	34.2%	4.3%	1.7%	1.7%	92.3%	0.2%
14	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。	31.6%	32.5%	4.3%	3.4%	28.2%	64.1%	2.0%



(1) 各設問の評価の割合と評価が低い設問に対する改善事例

設問9「学習活動に対する評価は適切・公平である。」設問14「学校は、特別支援教育(特別な支援を必要とする子どもに対しての教育)に取り組んでいる。」の2つの設問における肯定的評価(あてはまる・ややあてはまる)が60%程度で、評価が比較的低い設問となっております。設問9については前期評価と比べて10パーセント以上肯定的評価が増えています。設問14は微増です。そして設問7「子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。」については、肯定的評価が70%を超えているものの、昨年度後期、今年度前期評価から改善されておられません。

後期評価では設問7を重要改善項目として、改善例を御説明します。

設問	改善例
7	<ul style="list-style-type: none">・「未来フowardタイム(MFT)」と「キャリアカウンセリング」の充実。キャリアカウンセリングは学期に3回程度「キャリアカウンセリング週間」を設け、集中的に担任・副担任と生徒が1on1で目標や途中経過、振り返りを対話する機会をもちます。※「未来フowardタイム」とは、全校生徒が、学期や行事の前に目標を設定したり、学期や行事の振り返りをしたりする時間です。令和7年度より実施しています。・三者面談の冒頭で生徒が「自身の成長」を発表することを継続し、その発表に対して教師が認め、褒め、励まします。・学年だよりや保護者会で、学年や学級の様子を保護者の方により分かりやすく伝えます。・教師が子どもの心を傷つけるような不適切な指導をしないように、校内研修を実施します。 来年度の7月に「教室マルトリートメント(東洋館出版社)」の著者である川上康則氏に講義をしていただきます。

(2) 自由意見に対する回答

自由意見では、「合唱コンクールが今年から体育館でしたが、温かい雰囲気でもとても良かったと思いました。」「プレ中学プロジェクトや小学校への学習・放課後遊びのボランティア、生徒会中心の校則改定など生徒にとってとても良い活動をされていると思う。いろいろな事に安心して挑戦し、自分なりに工夫して取り組み、成長や達成感を感じる事が出来ています。」等、たくさんのねぎらいのお言葉をいただきました。教職員一同励まされました。ありがとうございます。

また改善に向けた質問や参考になるご意見もいただきました。前期に引き続き「いじめ問題等、生活指導全般・教員の指導における言動」について多くの、そして様々な御意見をいただきました。この点について重点的に回答させていただきます。

① 生活指導全般について

「服装のルールをまとめたプリントがほしい」という御意見をいただきました。標準服の正しい着こなしや防寒着のルール等をまとめたプリントを作成し、後日配布いたします。御確認ください。

鏈水中学校では「ルールだから守りなさい」という一方的な指導ではなく、「ルールを一緒に考えて、皆で決めて、守っていきましょう」という指導を目指しています。服装についても、令和5年度に(株)管公学生服の方を講師として招き「着こなしセミナー」を行ったり、認定NPO法人カタリバの協力を得てルールメイキングを実施したり、学校指定のセーター・ベスト・カーディガンについて保護者の方の意見交換会を実施したりしてきました。さらに今年度より「カジュアルデー」を実施し、TPO



に応じた服装を生徒自身が考える機会を設けています。

今後も「中学生らしい」「学校という公の場」にふさわしい服装を生徒と保護者の皆様と地域の方々と共に考え続けていきます。

②「対話 de 指導」や教員の不適切な発言について

昨年度末の保護者会で説明させていただいたように、今年度より「対話 de 指導」を掲げ、対話により教師と生徒が考えを共有した上で、問題や課題について理解を深めていくことを目指し、生活指導を行っています。しかし「教員の言動によって不快な思いをした」という御意見をいただきました。誠に申し訳ございません。今後はより一層の注意を払います。具体的には、毎月、生活指導に関する校内研修の実施を継続します。その中で、様々な具体的な場面（例えば、授業中にクロームブックでゲームをする生徒や標準服を着崩す生徒にどう声を掛けるか等）を想定し、どのような指導を行うか等、教員間で対話します。加えて教師が「教室マルトリートメント」を意識して、これまで以上に不適切な指導の再発防止に努めていきます。

教室マルトリートメント ※マルトリートメント…避けたい関わり方、不適切な指導

- ・質問形式の問い詰め・・・「何回言われたらわかるの」「誰に向かってそんな口の利き方するんだ」
- ・虎の威を借る・・・「校長先生に叱ってもらいます」「～できなくなるけど、いいんだね」
- ・下学年との比較・・・「そんなこと小学生でもやりません」
- ・指導者に責任がないことの強調
・・・「ダメって言ったよね」「さっき約束したばかりだよ」

参考文献：「教室マルトリートメント」 川上康則 東洋館出版

また生徒に対しては、放課後の時間を活用し、対話スキルの向上を目的とした「対話的な活動」の時間を設けています。来年度は全校生徒を対象に実施予定です。教員と生徒、生徒同士だけでなく、様々な立場な人と「対話」を大切にする学校づくりをしていきますので、御理解と御協力をお願いいたします。

③その他の御意見について

「西門の階段が暗い」という御意見に対しては、八王子市に連絡しましたが、街灯をつけることはすぐにはできないようなので、学校としてセンサーライトを取り付けました。前期にいただいた「鏈水の良い大人と対話する会」の名称についてですが、来年度は「鏈水の〇〇な大人と対話する会」と変更し、「〇〇」に入る言葉は会の終了後、生徒たちに振り返りの中で考えてもらいます。

以上、御意見について回答させていただきました。今後も皆様の御意見に耳を傾け、学校と保護者・地域の方々が一体となった教育活動を進めてまいります。また、時期にかかわらず、御意見がございましたら、いつでも学校までお寄せください。どうぞよろしくお願いいたします。